

【樹木の部屋】

キリ (キリ科キリ属 *Paulownia tomentosa*)

和名 : キリ(桐) **別名** : 白桐、泡桐、榮

英名 : Empress tree, Princess tree, Foxglove tree

シソ目 落葉高木 **原産地** : 中国

花言葉 高尚 **花の色** : 紫



← 写真-1 キリ

撮影日 : 2015年07月14日

撮影場所 : インターラーケン
(スイス)にて

撮影者 : M さん



← ↑ 写真-2、3 キリの葉と実

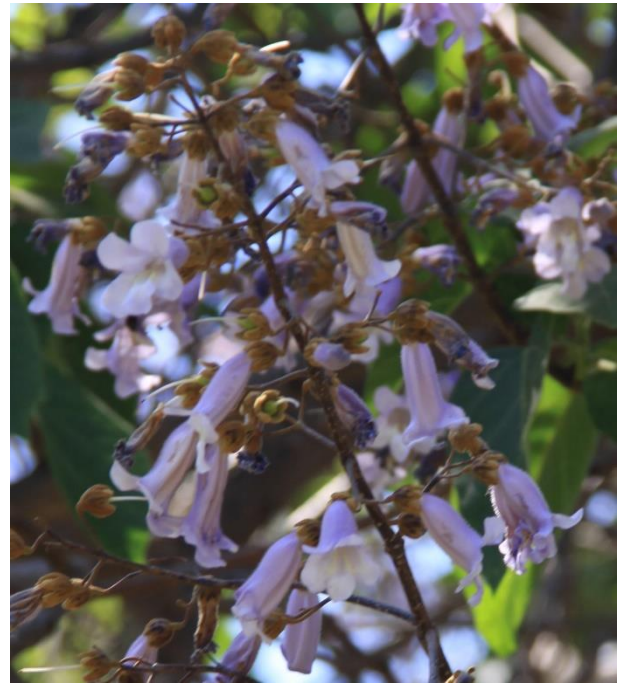
撮影日 : 2015年07月14日

撮影場所 : インターラーケン
(スイス)にて

撮影者 : M さん



← ↓ 写真-4、5 キリの樹形と花
撮影日：2018年04月27日
撮影場所：アテネ
 (ギリシャ)にて
撮影者：M さん



スイスのインターラーケンを訪れた際、ヘーエマッテの街路樹として植栽されていました。キリは、日本でも、よく見かける樹木ですが・・・。なんとなくスイスにも？と思い、カメラに納めました。実を見る機会が少なく、珍しさも手伝って・・・。

樹木自体は、よく見かけますが、花を見かける機会は少なく・・・。ギリシャのアテネを訪れた際、アテネ市内の公園で見かけました。丁度、花の季節でした。

キリは日本国内で採れる最も軽い木材だそうです。湿気を通さず、割れや狂いが少ないという特徴があり、高級木材として重宝されています。日本では箆や箱、家具、特に箆筒の材料として用いられることが多く、桐箆筒といえは高級家具の代名詞です。かつて日本では女の子が生まれるとキリを植え、キリは成長が早いため結婚する際にはそのキリで箆筒を作り嫁入り道具にするという風習もあったそうです。

またキリは発火しづらいという特徴もあるため、金庫などの内側にも用いられるそうです。かつて日本各地で植栽されていましたが、需要の高まりや産業構造の変化により、今では北米、南米、中国、東南アジアから輸入されることも多いそうです。

乳白色の木目が美しいため、木目を美しさを表す「木理」から「キリ」に転じたという説や、成長が早く、切られてもすぐに芽を出す。このため「切る」が転化して命名されたとする説もあるそうです。

<ちょっと一言>

キリは伝統的に神聖な木とされ、その葉と花をデザインした紋が知られています。中でも写真-6のような、花序に付く花の数が5・7・5の「五七の桐」と呼ばれる紋が有名です。貸衣装屋での紋付き服は「五三の桐」が多いとされているそうです。

足利尊氏や豊臣秀吉などの天下人が好んで用いたため、政権担当者の紋章と言う認識が広まり、日本国政府も内閣総理大臣の紋章として利用されています。身近な所で、政府の発行する国際的な書類としてのビザやパスポートなどにも・・・。

→ 写真-6 「五七の桐」紋
撮影日：2018年02月15日
撮影場所：パスポートより
撮影者：M さん



分類ですが、以前は、シソ目のゴマノハグサ科あるいはノウゼンカズラ科に分類されていたそうです。